

千葉市議会議員

亀井たくま ニュース

発行 亀井 琢磨 2016年春の便り号 (通算第28号)
自宅 〒260-0042 千葉市中央区椿森3-13-8 携帯 090-3694-4173
事務所 〒260-0042 千葉市中央区椿森5-4-5 TEL/FAX 043-255-8108
ホームページは亀井たくまで検索をお願いします! メール DQG06110@nifty.com



12月議会にて連続19回目の質問に! 障がい福祉・下水道・公園・国際交流の充実を!

皆様こんにちは! 本年もどうぞよろしくお願い申し上げます!
おかげさまで、亀井たくまは毎回の議会で質問に登壇し、皆様の声を1つ1つ届けております。12月議会もご意見をいただいた4つのテーマで質問・提言を行いました。以下、内容を抜粋してお知らせいたします。(詳しくは市議会ホームページをご覧ください)
2~3月議会は、新年度予算の審議を行う大事な議会となります。皆様のくらしや生活に関する大切な予算です。どうぞご意見などお寄せください。私も初心を忘れずに気を引き締めて臨む決意です。今後もよろしくお願い申し上げます!

障がいのある方々への支援について

- Q 「障害者差別解消法」が4月施行となるが、市の取り組みは。
- A 本市職員が守るべき規範となる「対応要領」の策定を行うとともに、「障がい者差別の相談窓口の設置」などを検討している。また市内の障がい福祉サービス事業者等を対象に差別解消の講演会を実施する。
- Q 差別の解消のための実効性ある取り組みをどうつくるか。
- A 差別の相談対応にあたり、「たらい回し」などが生じることがないよう、福祉・医療・雇用・企業・障がい者団体などの関係機関が参加して差別解消策を協議する「障害者差別解消支援地域協議会」の設置を検討していく。
- Q 「合理的配慮」の推進について、現状と今後の取り組みは。
- A 関係課職員への説明会を開催し、8月には市内の各部署に周知した。今後は、障がい福祉部局が中心となって情報収集・周知を行い、市役所のみならず事業者にも合理的配慮が広まるよう努めていく。
- Q より多くの当事者の声を活かす視点を、当事者意見や事例をどのように集約し、活かしていくか。
- A 各障がい者団体にヒアリングを行い、現在集約を行っている。今後も意見交換を行い、市が作成する「対応要領」に当事者意見を反映させていく。
- Q 合理的配慮の視点から、聴覚障がいのある方々のために、映像等への字幕付与が必要と考える。市内小中学校での教材のDVDや映像資料、また市内公共施設の貸出ライブラリー等のDVD・映像資料には字幕がどれくらい付与されているか、現状は。
- A 小中学校における教材DVDには一部字幕が付与されている状況であり、中央図書館・生涯学習センターで貸し出しているDVDの約4割には字幕が付与されている。
- Q 字幕の必要性について、市の見解は。
- A 聴覚障がいがある方が社会参加していくためには、字幕付き映像の普及が必要と認識している。今後も「千葉聴覚障害者センター」と連携し、字幕を付与した映像の提供・普及啓発に努めてまいります。
- Q 字幕付与の推進に今後どのように取り組むか。
- A 国も字幕付与を進めていることから、今後、市内への周知を図り、本市がDVD等の映像資料を購入する際には、字幕が付与されたソフトを購入していく。また市が映像等を製作する際には、「千葉聴覚障害者センター」と協議し、聴覚障がいのある方に配慮した映像を製作していく。

(1)

亀井はこう考える! 合理的配慮を進め、誰にもやさしいまちに!

私が継続して取り組んでいるテーマです。4月から障害者差別解消法が施行されます。「差別の解消」はもちろん、「合理的配慮の促進」が急がれます。市の実効性ある取り組みを求めるとともに、「合理的配慮」の具体的な課題として、聴覚障がいのある当事者の方々および支援されている方々からのご意見をもとに、市内公共施設や学校における映像資料の「字幕付与推進」を求めて、提案を行いました。
聴覚障がいの方にとって、字幕があるかないかは大きな違いです。国も「字幕放送の拡充」に取り組む方針であり、テレビでも字幕放送が増加してきましたが、日常生活の中ではまだまだ十分でない場面も多くあり、聴覚障がいの方々の情報保障や社会参加のためには、日常の多くの機会に字幕(情報)が付与されていくことが必要です。著作権法改正により、聴覚や視覚障がいのある方々のために、公的な機関が著作物に字幕を付与するなどの活用・複製をすることが可能となっています。多くの場面で字幕が付与されるように、市としても責任を果たしてもらいたいと思っています。
私もテレビを見るときは字幕機能を利用しています。とても内容が理解しやすくなるからです。便利な字幕の機能は障がいのあるなしに関わらず、すべての人のためにもなるものです。そんなユニバーサルデザイン(誰にでも便利)の観点をもった合理的配慮の推進、差別解消の積極的な取り組みが求められます。

国際交流と外国人への支援について

- Q 姉妹友好都市交流の現状と今後の方向性は。
- A 世界の7都市と提携し、周年行事における公式訪問団の相互交流、視察団等の受入れ、青少年の交流、伝統・文化行事、大規模災害時の支援など幅広い交流活動を展開している。今後は、国際親善・交流はもとより、国際貢献、多文化共生の視点を持ち、双方の都市に有益になる国際交流を展開していく。
- Q 2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、姉妹友好都市とのさらなる連携を。
- A これまでの交流を通じた信頼関係のもとに、オリンピック・パラリンピック開催に合わせた効果的な事業をさらに展開していきたい。青少年交流事業で育成した人材のボランティア活用や、姉妹友好都市からの来訪者との交流事業を検討していく。
- Q 市民と外国人との「草の根交流」の取り組みをどうつくるか。在住外国人との連携は。
- A 市民の草の根交流への関心も高まっており、国際交流活動に参加する市民の拡大に向けた取り組みは重要と認識している。今後は、通訳ボランティアのさらなる育成、スポーツ・文化など多様な分野での市民の草の根交流を支援していきたい。本市には2万2千人の外国人が在住しており、貴重な人材と認識しており、本市のPR、通訳、案内など様々な場面で活躍してもらいたいと考える。今後、具体的な連携について検討していく。
- Q グローバル社会の中で、世界的な課題について連携・協力が必要だ。姉妹友好都市との連携・交流の強化を。
- A 経済連携、介護人材問題、防災などの具体的な課題について交流を進めているところであり、今後も本市が有する知識・技術・経験等を活かした国際協力に取り組むとともに、本市の課題についても姉妹友好都市との交流のメリットが最大限いかせるよう連携をはかってまいります。



亀井はこう考える! 姉妹友好都市との「縁」を発展させ、2020年を!

昨年11月、ご縁あって、姉妹友好都市である中国・天津市を訪問する機会があり、現地の方々との交流の中で、「せっかくある姉妹友好都市の縁を大切に、もっと双方のために発展させなければならぬ」との思いを新たに、今回の質問に至りました。2020年の東京オリンピック・パラリンピックをひとつの契機として、姉妹友好都市とのさらなる連携・交流強化をはかっていくことや、世界中から多くの方に千葉市を訪問してもらい、民間レベルでもさまざまな「草の根交流」(スポーツ、文化、学校教育など)が可能となるような環境整備・人材育成について考えます。
今後、グローバル化の中で、人的・経済交流など双方に有益な姉妹都市交流を展開していくことが大切です。また、国際貢献や多文化共生という視点のもとに、「困ったときはお互いさま」の精神で相互交流を行っていくことが相互理解となり、ひいては国際平和にもつながっていくのではないかと思います。
このほか、行政書士として在住外国人の生活相談(生活困窮や日本人の子を育てるシングルマザーの課題、言葉の問題など多岐にわたる相談)に従事した経験から、「多文化共生」の視点で、本市在住外国人の相談・支援の充実についても求めました。

下水道事業について

- Q ゲリラ豪雨による浸水が想定される地区への今後の対策は。
- A 現在、近年の降雨データをもとに検証作業を進めている。今後、検証結果をもとに深刻な被害が及ぶ箇所については、効果的な被害軽減策の取り組みを進めていく。
- Q 老朽化が進んでいる下水管路の点検と対策は。
- A 20年の超える管路は目視点検、40年を超える管路は簡易カメラによる点検を実施し、不具合があれば清掃・修繕等の延命化は行っている。今後、法改正に伴い、新たな点検計画を策定し、腐食しやすい場所は5年に1回以上の点検を行っていく。管路の老朽化が急速に進むことから、より効率的な対策を進めていく。
- Q 維持費用が増大する中で、持続可能な下水道にするための経営の改善は。
- A 施設の包括維持管理委託によって、これまで費用削減(H20~22年度1.9億円、H23~25年度2.7億円、H26~30年度4億円)をはかっている。今後は、消化ガス処理を行い、電気料金を削減し、維持管理費を削減していく。収入面では、今後、「上下水道の料金徴収一元化」により、使用料の取納率の向上をはかっていく。
- Q 下水汚泥を利用した消化ガス発電の取り組みの現状と今後の。
- A 消化ガス発電設備は南部浄化センター(中央区)に今年2月中旬完成を目指している。今後も発電施設・設備の増設を進めていく。(年間約4800万円の電力が賄える予定)
- Q 下水道が秘めている未利用の資源やエネルギーの研究・活用が進んでいるが、本市の今後の取り組みは。
- A 下水に含まれる「リン」の活用・肥料化について、現在、成分分析などの検証を行っており、今後、事業化について検討していく。規制緩和によって利用可能となる「下水熱」の利用についても、調査・研究を進めていく。

亀井はこう考える! 持続可能な下水道事業の発展・推進を!

①「雨水・ゲリラ豪雨対策の強化」②「下水管等のインフラの老朽化対策強化」③「経営の改革」④「資源・エネルギーの活用促進」の4つの視点から質問しました。
9月の大雨では、私の住む椿森3丁目では市で唯一床下浸水が発生してしまいました。発生しやすい地域の特性を把握し、ハード・ソフト両面での対策が急務です。また下水管路(耐用年数50年)の老朽化も今後進行することから、点検・補修を着実に実施し、「インフラの延命化」と「費用平準化」を計画的に進めていくことが必要です。また、持続可能な経営を目指して、収入支出両面での改善も行われており、「下水汚泥の活用による発電」などの新しい取り組みも着実に進んでいます。
最近では、「下水道が持つ資源とエネルギーの活用」として、①下水から水素を取り出して水素自動車等に活用(福岡市など)②下水に含まれる「リン」の肥料化③下水熱の活用などの取り組みが注目されていますが、市は「リン」の肥料化の検討などを進めています。今後も資源・エネルギーの活用には期待したいものです。

公園・トイレの管理について

- Q 公園管理における住民やボランティアのさらなる活用は。
- A 自治会や老人会などの「公園清掃協力団体」275団体に433か所の公園で協力を得ている。また公園の管理運営を積極的に行うパークマネジメントは12団体15公園で展開されている。今後は住民・ボランティアとの協働のほか、地域企業と連携した企業参加型のパークマネジメントに取り組んでいく。
- Q 身近な公園のトイレの設置管理の状況は。またどのような方針のもとに設置を進めているか。
- A 189施設に194か所設置している。管理は清掃業者に委託し、基本週2回となっている。トイレ設置は、スポーツ施設などがあり、長時間滞在が想定される公園に設置を進めている。
- Q 公園のトイレは和式が大半であり、洋式化が求められる。また、バリアフリーやユニバーサルデザインの観点から、さまざまな人が使える多機能トイレの設置促進を求めるが、市の見解は。
- A 現在、老朽化した遊具などの更新を最優先に取り組んでおり、トイレの改修については、老朽化の状況を見極めながら検討してまいります。
- Q 清潔できれいなトイレにするため、トイレの設置や管理について、トイレ内の広告掲載やネーミングライツなど、「民間」活力の活用を考えてはどうか。
- A さまざまな形で民間活力導入が求められており、他都市の事例を調査・研究してまいります。



亀井はこう考える! 身近な公園・トイレの管理をどうしていく?

現在、市が管理する公園緑地数は1177か所。清掃や樹木剪定の委託料に年間約18億円、修繕費に約1億3千万円の費用がかかっています。多くの施設の老朽化、バリアフリー化などに課題があるとされています。この間、「公園の管理運営については、住民・ボランティアからご意見をいただきました。市財政にも制約がある中で、公園の管理運営については、住民・ボランティアとの協働やさらなる工夫が求められます。また、「公園のトイレが汚い」等のご意見もあり、「きれいなトイレ」を維持することも難しい課題です。公園のトイレも「洋式化」やバリアフリーやユニバーサルデザインの観点から、さまざまな人が使える「多機能トイレ」の設置促進が必要と考えます。渋谷区や横浜市では、公衆トイレにネーミングライツ(命名権)を導入したり、トイレ内の修繕・管理も担っているトイレもあります。今後も研究していきます。
このほか、「千葉公園」(大賀ハス)、「泉鼻公園」(千葉氏)の活用・活性化について質問を行いました。歴史ある公園を活かして、イベントの創出を行い、公園・地域の活性化につなげてほしいと思います。

(3)

皆様の声の実現! ~あの質問・提案は怎么样了?~

「ふるさと意識醸成」のための成人式での「千葉市歌」斉唱が実現!

「せっかくの千葉市歌をもっと歌われるようにしたい」そんな思いから、千葉市歌の普及促進について、平成24年11月の千葉市成人式で質問・提案してきましたが、この1月の千葉市成人式にて、「千葉市歌斉唱」が実現しました! 「初めて聴いた!」「初めて歌った!」という新成人が多かったです。ふるさと千葉市の歌をぜひ覚えてもらい、母校の校歌のように口ずさんでほしいと思います。



【12月議会も元気に登壇! 毎回全力で!】

性的マイノリティ施策前進へ! 千葉市初のLGBTグループ発足へ!

平成26年6月議会での質問をはじめ、これまで力を入れてきた性的マイノリティ(LGBT)の方々の施策については、1月21日、中央区で多くの仲間と千葉市初のLGBTシンポジウムを開催し、60名の参加がありました。朝日・毎日の両新聞にも大きく取り上げられました。
シンポジウムを契機として、LGBTの方と支援する仲間と組織される「レインボー千葉の会」が立ち上がりました。今後、定期的な勉強会や交流会などイベントを行っていき、市への働きかけなど、施策前進のために行動していく予定です。興味のある方はどなたでも参加できますので、どうぞご連絡ください!



【シンポジウムにてパネリストを務める】

TEL/FAX 043-255-8108 携帯電話 090-3694-4173

市政へのご意見は。 (事務員も問わず、1人で活動しておりますので、留守が多いです。携帯電話か留守番電話にメッセージをお願いします! お手紙も大歓迎です!)
ホームページ <http://www.kamei-takuma.com>
メール DQG06110@nifty.com

フェイスブック、ツイッター、ブログもやっています! 亀井たくま で検索を!

亀井たくまのプロフィール

1980年生まれ。椿森出身・在住。35歳。作草部幼稚園、都賀小、椿森中、市立千葉高、早稲田大学政経学部、同大学院公共経営研究科修了。行政書士。社会福祉士。椿森3丁目役員。千葉市スポーツ推進委員。院内小スポーツ振興会委員、椿森中青少年育成委員会委員。青少年相談員、ホームヘルパー2級。防災士。保健消防委員会副委員長。保健所運営協議会委員。

2007年の市議選は21票差で落選。2011年、初当選。2015年再選。日々修行中です! 趣味は明治~昭和の懐メロです。(介護施設、老人会、自治会等で懐メロの演奏・茶話会のボランティアができます! 詳しくは電話ください!)好きな歌手は灰田勝彦、東海林太郎です。

市民の皆様と一緒にクリーン・あなたかな市政をめざします! ワンコインカンパ(1口500円・複数口大歓迎!)にご協力ください。郵便振替口座 00190-7-456984 亀井たくまと亀の歩みの会 最後までお読みいただきまして、ありがとうございました!

(4)